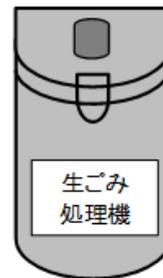


# 生ごみ処理機で可燃ごみの減量化ができます。



4世帯の可燃ごみ袋の中身の重さを品目ごと重量調査を行いました。

- ・リサイクル可の欄は、意識し努力すればリサイクルに出せる物です。
- ・リサイクル不可の欄は生ごみや汚れが取れない等リサイクルに出せない物です。

## 可燃ごみ袋の重量調査

(4世帯分、1週間分の合計)

品 目	重 量		割 合	
	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル可	リサイクル不可
生ごみ		③12,090g		56.3%
紙類 (チラシ、雑誌等)	750g	1,920g	3.5%	9.0%
布類	1,100g	650g	5.1%	3.0%
ペットボトル	50g	120g	0.2%	0.6%
白色トレイ	250g	310g	1.2%	1.4%
「プラ」マーク容器包装	790g	690g	3.7%	3.2%
「紙」マーク容器包装	1,670g	510g	7.8%	2.4%
「プラ」マーク以外の塩ビ類	0g	550g	0.0%	2.6%
小 計	②4,610g	16,840g	21.5%	78.5%
リサイクル可：不可の割合	21.5%	78.5%		
合 計	①21,450g		100.0%	

## 調査結果

4世帯の1週間の可燃ごみは合計で①21,450gでした。その内、約21%の②4,610gは努力すればリサイクルに出せる物でした。

また、全体の約56%を占める生ごみの合計③12,090gの内、80%が生ごみ乾燥処理機で処理できる量と仮定し、1/8に減量できた場合、④8,463g軽くなります。

(上記の計算：③12,090g × 80% × (1 - 1/8) = ④8,463g)

よって可燃ごみの総重量①21,450g - ②4,610g - ④8,463g = 8,377g

半分以下に減量化出来ることとなります。

電気式生ごみ乾燥処理機等を利用して、さらなるリサイクルに努めれば、今よりもっと可燃ごみを減量化できます。ひとりひとりのわずかな減量でも町全体では大きく効果が得られます。是非減量化に努められますようお願いいたします。